

質問書に対する回答

(工事名) 道央自動車道 野津幌川橋耐震補強設計

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	<p>野津幌川橋 上り線 P2～P12 橋脚/下り線 P3～P12 は、2柱式の曲線橋。</p> <p>上下 P13～P18 は 単柱式の斜橋・曲線橋である。</p> <p>→動的解析のモデルとしては、どのように考えられていますでしょうか。</p> <p>標準歩掛は、2次元モデルで、入力地震動タイプⅠ、Ⅱ、加振方向橋軸、直角方向の2ケースとなっており、それ以外は別途協議となっています。</p> <ul style="list-style-type: none">・2柱式は門型ラーメン橋脚のような挙動を示すことから、3次元モデルで解析する必要があると思われま・斜橋の曲線橋においても、地震時の挙動を把握するため、橋脚の向きや支承の方向を踏まえたモデルを作成する必要があります。・また、加振方向に関しても、橋脚の照査方向と支承照査方向で入力地震動の方向が異なり、一般的な入力方向よりも解析ケースが増えることとなります。	<p>動的解析モデル及び加振方向については特記仕様書 2-7「既設橋梁動的解析」及び 2-10「耐震補強動的解析」に基づき、貴社の設計計画に必要な費用を計上願います。</p>

2	<p>夕張川橋、萱野川橋、美唄川橋は、いずれも単柱式の曲線橋の斜橋。</p> <p>→動的解析のモデルとしては、どのように考えられていますでしょうか。</p> <p>標準歩掛は、2次元モデルで、入力地震動タイプⅠ、Ⅱ、加振方向橋軸、直角方向の2ケースとなっており、それ以外は別途協議となっています。</p> <ul style="list-style-type: none">・斜橋の曲線橋においても、地震時の挙動を把握するため、橋脚の向きや支承の方向を踏まえたモデルを作成する必要があります。・また、加振方向に関しても、橋脚の照査方向と支承照査方向で入力地震動の方向が異なり、一般的な入力方向よりも解析ケースが増えることとなります。	<p>動的解析モデル及び加振方向については特記仕様書 2-7「既設橋梁動的解析」及び 2-10「耐震補強動的解析」に基づき、貴社の設計計画に必要な費用を計上願います。</p>
---	--	---

以 上